



東陽の旋風^{かぜ} ～自立貢献～

令和4年9月9日（金）No 18 発行
文責：松本 卓也

なぜ働くのか？ ～職場体験学習～

8日（木）・9日（金）に、2学年「職場体験」学習を実施しました。職場体験学習は特別活動〔勤労生産・奉仕的行事〕の一つであり、生徒の発達の段階や、卒業後の主体的な進路選択等を踏まえると、中学校段階において、重点的に推進することが求められています。本校でもキャリア教育の中核として位置づけ、発達段階に応じて、1年生では「職業調べ・農業体験」、3年生では「高校調べ・体験入学」に取り組んでいます。活動における3つの視点と重点的に育成を目指す資質・能力は以下の通りです。



【特別活動の3つの視点】

- 自己実現（伸びる）
- 人間関係形成（つながる）
- 社会参画（乗り越える）

【重点的に育成を目指す資質・能力】

- 夢や希望、志を立て、それに向かって努力を惜しまない力
- 自他を大切にし、仲間とつながり励まし合える力
- 進んで社会に貢献する力

子どもたちは、自分の適性や興味・関心をもとに選択した6つの事業所で、実際に仕事を経験し、働くことの厳しさや喜びなどを身をもって体験していました。



太陽保育園



桜屋（片山精肉店）



東陽交流センターせせらぎ



梅本農園

京セラ創業者の稲盛和夫氏は、著書（働き方「なぜ働くのか」「いかに働くのか」）の中で、「働くことは人間を鍛え、心を磨き、『人生において価値あるもの』をつかみ取るための尊くて、もっとも重要な行為である」と述べています。この2日間、実際に仕事をしている人と接し、体験することで得た働くことの意義（勤労観）や新たな自分の発見（可能性）をもとに、「10年後、20年後自分の夢や希望を実現するために、「今、中学生の間に何をすべきか（学ぶか）？」を考えてほしいと思います。よりよい社会の形成者となるために、自分のよさをさらに伸ばしてほしいと願っています。受け入れていただいた事業所の皆様方、子どもたちは大きな学びを得ることができました。大変お世話になりました。

自分自身との闘い いいチャレンジを！

15日（木）に開催される八代中体連に向け、朝、夕と練習を重ねてきました。先日、行われた陸上世界選手権の男子100メートルで、五輪を含む世界大会で日本勢90年ぶりの決勝進出を果たしたサニブラウン・ハキーム選手。開幕前の記者会見では、「他の選手たちと走る競技ではあるけど、自分自身との闘い。いいチャレンジができれば。」と意気込みを語っていました。大切なのは、自分のこれまでの記録を上回ることです。大会では、全力で競技場を駆け抜ける姿を期待します。“起
東陽の旋風！！”



教師修養 第5弾 ～「公共の福祉」とは？～

7日（水）、八代市教育委員会からN指導主事をお招きして、3年生の社会科で研究授業を行いました。交通渋滞を解消するための市のバイパス建設計画に対して、3つの立場にわかれ、それぞれの立場から「建設予定地に住んでいるAさんは立ち退きをすべきなのだろうか」を考えていきました。課題解決に向け、主体的・対話的で深い学びのカギとなる「見方・考え方」をさまざまな場面でも働かせる等、非常に意欲的な授業態度でした。「生徒が主体的な学び手となる授業づくり」に向け、職員一丸となって授業改善を行っていきます。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）